



2021 年 10 月

森と海の自然科活動報告 テーマ「里川」

京都北部の疏水巡りの散策あれこれ

記録：金高、集合写真：藤井

日 時 2021 年 10 月 21 日（木）曇り

集 合 10 時 30 分 京阪電車 神宮丸太町駅 改札口

参加者 18 人

京都は平安時代以来千年の間、我が国の首都として栄えてきましたが、明治 2 年東京に都が移り産業も急激に衰退し、人口も急減してきました。衰退していく京都を復興させるため、特に産業の復興を図ることを計画されたのが疏水事業でした。事業の主唱者である北垣国道府知事や工事を担当した田邊朔郎、府市関係者、市民が京都の将来を考えて、明治 18 年（1885 年）から幾多の困難を乗り越え明治 23 年（1890 年）に第 1 疏水が完成した。

琵琶湖から第 1, 2 疏水から流れてきた疏水の水は、蹴上から西に流れていく疏水と北に流れていく疏水に分かれます。蹴上から南禅寺、哲学の道、銀閣寺前を流れる疏水は白川通りを北上し叡電線路の下をくぐり高野川を越え松ヶ崎浄水場前を暗渠となって通過し、千本通りから南下し賀茂川の下を潜り紫明道を進み堀川通りから疏水は堀川となって真っ直ぐ二条城を経て京都駅の西側で暗渠から出ますが直ぐにまた暗渠となり鴨川に流れ込みます。

記

：見学地 鴨川運河起点地、夷川発電所、船溜まり、吉田神社、子安観世音、公園（トイレ・休憩）赤の宮(加茂波瀾神社)河川との合流地、等々

：行程(案) 約 9～10 k m 距離は平坦ですが車道歩きで疲れます。水分補給をしっかりと確保する。

神宮丸太町駅・・・鴨川運河・・・夷川発電所（船溜まり）・・・熊野神社・・・吉田神社・・・吉田山山頂（昼食）・・・道標・・・子安観世音・・・疏水との出合から・・・叡電踏切・・・疎水通り・・・公園へ(トイレ・休憩)・・・赤の宮(加茂波瀾神社)・・・高野川出合から川沿いを下る（約 40 分前後）

★京阪電車出町柳駅に集合・解散！



← 鴨川と運河

夷川発電所 →

